



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、子どもたちの体調に注意を払いながら活動を進めています。

暑さもおさまり豊穣の時期を迎え、充実した子供たちの毎日を支えていただいている地域の方々に感謝を申し上げるところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

「実がいっぱい 甘いとうきび」



8月26日 梶山農場さんからのご厚意で、1人2本ずつ採れたての“恵味”という品種のとうきびをいただきました。

「とうきびの名前はなんていうでしょう」というクイズやとうきびのなり方、ひげの数だけ粒になることなど、とうきびについての話もしていただき、とても勉強になりました。

毎年じゃがいもやとうきびをいただいているので、子どもたちも「梶山さんのじゃがいもやとうきびおいしんだよね。楽しみ♪」「やったーとうきびだ♡」などと話をしていました。

家で食べるのを楽しみに手に取っ



ていた子どもたち。お礼にひまわり組さんが代表して、ひまわりのペンダントをつくって渡しました。

次の日に「茹でてもらって食べたよ」「この世で一番甘かった」などとうきびの話題で持ちきりでした。



御影こども園

秋祭り♪

9月12日 御影の秋祭りがありました。今年もピカピカのおみこしに自分たちの似顔絵を制作して飾りました♪



当日はお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが見に来てくれることをとても楽しみにしていた子ども達✧

天気にも恵まれて、たくさんの方々が沿道で声援を送ってくださったおかげで、子ども達も「わっしょい」「わっしょい」と張り切っておみこしを引

っ張ることができました♪

獅子舞に出会い、頭を噛んでもらって邪気を食べてもらったり、沿道の方々にお心遣いを頂いたり、町の人たちに感謝の1日でした！



清水小学校

文字と心が整う書写の授業

書写（毛筆）の授業では、毎年、書写ボランティアの方々にお手伝いをいただいで授業を進めています。

3年生から書写の授業が始まり、姿勢、筆の持ち方、回し方、力のかけ方等、様々な技術を身に付けていきます。

書写の授業のたびに書写ボランティアの方々が、

子どもたちのよさを認めながらアドバイスをしてくださるおかげで、清水小学校の子どもたちはとても字を書くのが上手です。

また、習字を書く際、子どもたちは自分の文字と向き合いながら、筆先に神経を研ぎ澄ませて一画一画書いています。書写の活動を通して、きれいな文字を書くだけではなく、集中力を高めるとともに、心を落ち着かせる力を育むことができます。書写ボランティアの方々との関わりが、子どもたちの文字と心を整わせる取組にもつながっています。



御影小学校

「御影こども園夏休み作品見学」



8月21日から2学期が始まりました。

夏休み中、御影小学校の児童は、工作や習字、自由研究などの作品づくりに取り組み、夏休み明け後、児童それぞれの作品を展示し作品展を開催しました。

保護者の方々も鑑賞に訪れ、22日には保小連携教育の一環として、御影こども園の園児も御影小学校に来て作品展を鑑賞



し、そこでは御影小学校の1年生が先導役となり、園児の手を引いて作品展を案内し、鑑賞を通して園児には小学校の雰囲気味わってもらいました。

「御影地区小中学校作文朗読意見発表大会」

9月5日に御影地域づくり推進協議会・御影消防団・清水町生活安全推進委員会主催による、御影地区小中学校作文朗読・意見発表大会が行われました。

御影小学校からは6年生2名と5年生2名の計4名が出場しました。

作文の題名を“地震から身を守るために必要なこと”“御影をペットの命を守る町に”“ちゃんと伝えられたかな？”交流会“清水町の給食紹介”と



し、学校生活や地域について感じたことや考えたことについて堂々と発表しました。

児童は学校で学んだことを作品展示や作文朗読発表会を通じて、地域の方々に披露することができ、とてもよい機会となりました。



清水中学校

3学年 家庭科 ふれあい学習



7月14日・15日に3学年の家庭科の保育学習の一貫として、しみず認定こども園を訪問してふれあい学習を実施しました。

中学生はこども園の子どもたちと触れ合うことで、笑顔いっぱい一緒に活動を行うことができました。



御影中学校

1 日防災学校～2 学年「HUG」で防災を考える



本校では、防災教育の一環として、「一日防災学校」の日を設定しています。今年度は、日程の関係で9月4日を防災の日とし、全校避難訓練、9日に防災教室として2学年のHUG（避難所運営ゲーム）を行いました。

4日、6時間目の時間帯に避難訓練を実施しました。今回は職員の火災通報訓練も含め、清水消防署

の職員の方に避難訓練の様子をご覧いただき、災害時の心構え等について、ご助言いただきました。その後、消防署職員の皆様からご指導いただきながら、煙道体験を実施しました。



9日の3・4時間目には、HUG（避難所運営ゲーム）の講師として、清水町役場総務課の近藤参事、尾田課長補佐をお迎えし、災害が起こったとき、本校に避難所を開設する想定で学習を進めました。



御影地区小中学校作文朗読意見発表大会

9月5日、御影公民館において御影地区の小中学校代表者による、作文朗読・意見発表大会が開催されました。

生徒たちは、日頃感じていること、自らの体験を通して考えや主張等を発表する機会をいただ



き、多くの地域の皆様の前で、堂々と発表することが出来ました。

